

5/15
 2012年第1106号
 (毎月5、15、25日発行)

大阪府歯科保険医協会
 敬 志岐 敬
 大 志岐 敬
 市 浪速区幸町1-2-33
 電 話(06)6568-7731(代表)
 http://osk-net.org/
 ●定価・年間10,000円 月1,000円
 ●1977年5月23日第三種郵便物認可

所得増えるほど税負担率が減少 不公正の是正が急務

(表) 合計所得階級別の税負担率と株式譲渡所得が占める割合

年間合計所得	500万～700万	1000万～3000万	5000万～1億	10億～20億	50億～100億
税負担率	7.6%	22.4%	28.3%	22.3%	13.5%
株式譲渡所得の割合	0.4%	1.2%	3.7%	43.1%	90.9%



基軸
 消費増税と社会保障財源
 ①
 東京大学名誉教授 醍醐聰

政府や大手マス・メディアが社会保障財源を消費税に求め、「増税やむなし」を強調している。消費税以外に本当に財源はないのか。消費税の不当性を明らかにし、財源確保の新たな道を提案する醍醐聰氏(東京大学名誉教授)に連載願った。(新聞部)

富裕層への課税 世界の流れ

オバマ米大統領は2月14日、自らの前の年の合計所得が日本円でおおよそ6400万円、納税率は20・5%だったのに対して、共和党大統領候補のロムニー氏は所得は17億とオバマ氏の27倍であったのに、納税率は15%に過ぎなかったことを明らかにした。富裕層に多い金融所得の優遇を改め、課税の強化をアピールしたわけだ。フランスの大統領選でも、富裕層の増税を掲げたオランド氏が付加価値税(消費税)の

1億超の所得で 負担率低下

では、日本はどうかというところ、表に示したように、合計所得が1億円を超えれば、負担率が下がるという傾向が見られる。そのわけは、高所得者になるほど、10%という極端に低い税率で分離課税扱いされる株式譲渡所得の占める割合が大きくなり、累進税率の網の外におかれているためである。

累進税率戻せば 1兆2千億増収

私の試算では、累進税率を消費税導入前の姿に戻すだけで個人所得税は1兆2000億円の増収となる。さらに、生計費は所得の増加と比例して増えるわけではないのに、上限なしに課税所得を減らす今の所得控除を改めれば、さらに大きな増収となる。

四條畷国保

収納対策の改善求め交渉 違法事務の実態明らかに

協会が常任幹事を務める大阪社会保険推進協議会(社保協)は4月19日、四條畷市がなりふり構わぬ国民健康保険料の収納対策を実施している実態を受け、国保行政の改善を求めて同市保険年金課と交渉し、井上賢二会長(医科協会副理事長)ら100人が参加した。同市からは、総務部長、健康保険担当部長をはじめ、保険年金課長、徴収対策課長など8人が対応した。

条理かを伝えていく必要がある。(C) だいたい、1946年兵庫県生まれ。82年に京都大学経済学博士の学位を取得し、85年に同大学経済学部助教授に就任。88年に東京大学経済学部助教授、89年に同学部教授を経て、10年から同大学名誉教授。市民団体「NHKを監視・激励する視聴者コミュニティ」共同代表などを務める。

患者・会員署名同封



新署名にご協力を

なく受けられる医療の実現を目指す。

また、消費税増税が患者の負担増による受診抑制と、医療機関の「損税」拡大を招くことから、増税の中止と医療への「ゼロ税率」の適用を求める会員署名にも取り組む。

協会・保団連は、患者負担軽減や消費税増税の中止などを求めて新たに「安心して受けられる医療の実現を求める」を掲げ、経済的な不安を呼びかけている。

署名用紙は、今号に同封し、全会員に届ける。協会は、6月7日の国会要請に持参する。多くの会員の協力を呼びかけている。

仕事激減で1月に自殺した夫の葬祭費の給付相談をしていた女性の事例(3月5日付既報)などについて、同市保険年金課の対応を質した。女性の事例では、葬祭費を現金で支給せず、市の帳簿上で国保料滞納分に充当する違法な手続きが取られていた。問題点を指摘すると、同課は「現在は現金を渡すよう改善した」と回答。交渉に至る社保協とのやり取りによって同市の違法事務を改善させた。



国保行政の改善を求める参加者ら
 = 4月19日、四條畷市役所

しかし、滞納保険料の納付義務は自殺した夫(世帯主)にあり、相続していない段階で女性に納付義務はない。納付義務のない第三者に日常的に納付相談している実態が明らかになった。同市は、2010年から保険年金課、徴収対策課が一体となった徴収対策を強めている。財産差額から福祉(生活保護)に送られた事例はたった1件、徴収対策課からは0件だった。

訂正 4月25日付掲載した『歯科外来診療環境体制加算』の案内記事に、講師の原田丈司氏の肩書きは助教の誤りでした。訂正します。

保険でよい歯科医療を大阪連絡会



総会・市民講座 に参加ください

- ◇5月20日(日) 午後2時30分～4時30分
- ◇講師・佐藤弘氏 (西日本新聞編集委員)
- ◇M&Dホール
- ◇会費無料
- ※申し込みは協会事務局まで

歯界

周囲を海で隔て比較的高い日本では、地震や台風などの自然災害は多いのに、疫病の蔓延(まんえん)という災害は少なかった。Fletcher(災害)を(星)の悪位置のせいにして昔から、外国では戦争以上に疫病で人口を減らした。

主力武器が文明の象徴である大砲にまで進化した大航海時代になると、西欧人が熱帯や亜熱帯にまで進出し、病原菌を免疫のない人々の間に広めたり、持ち帰ったりした。

スペインとの戦争やパナマ運河の開削で苦い経験を重ねたアメリカは、太平洋の島々で日本軍の何倍もの兵力とともに疫学の専門家や公衆衛生工学的の専門家も日本軍の何十倍も動員した。

エイズも西アフリカも、元々狭い地域の風土病で、免疫のある人と媒介生物や病原微生物が共生していたのが、人の行動域の拡大につれて他所へ飛び火した。

紙面へのご意見や感想、投稿記事などを新聞部までお寄せください。紙面に掲載させていただいた場合は、図書カード3千円分を進呈いたします。(郵送やファクスで、協会新聞部までお寄せください)